





作り方

-  山折り線
●山折りにしてください。
-  - - - 谷折り線
●谷折りにしてください。
-  ——— 切り込み線
●切り込みを入れてください。
-  ——— 切り取り線
●切り取ってください。

道具・材料

- ＜組み立てに必要な道具＞
- はさみ ●使用済みのボールペン
 - ピンセット ●定規
 - スティックのりまたは水溶性でない接着剤など。
(木工用の水溶性接着剤は用紙が反って変形することがあるのでオススメしません)

作り方のコツ

- のりづけの前に、山折り、谷折り部分に折りぐせをつけます。
使用済み(インクの出なくなった)ボールペンなどで折り線の上を定規などを当ててなぞっておきますと、更にシャープに折りやすくなります。

注意



のりやはさみ、ピンセットなど、幼児に危険と思われる道具や材料を使用しますので、幼児の手の届かないところで作業してください。
水溶性でない接着剤や、クリアラッカーをお使いの場合は、保護者の方が作業してください。また火気に注意し換気がよくできる場所で作業しましょう。

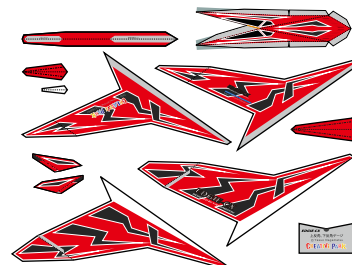
ワンポイント アドバイス

- 1 <あると便利な道具>
●綿棒やティッシュ:
塗りすぎではみ出した接着剤を拭き取るときに便利です。
●平らな板、または厚い本を2冊:
翼を貼り合わせたものを平らにするときに便利です。
- 2 紙にシワを入れると紙飛行機は飛びません。
折り線以外のところで折らないよう、注意してください。
紙は平らなまま作りましょう。
- 3 クリアラッカー(油性)で塗装すると強度がアップします。
湿気に強くなり、変形しにくくなります。

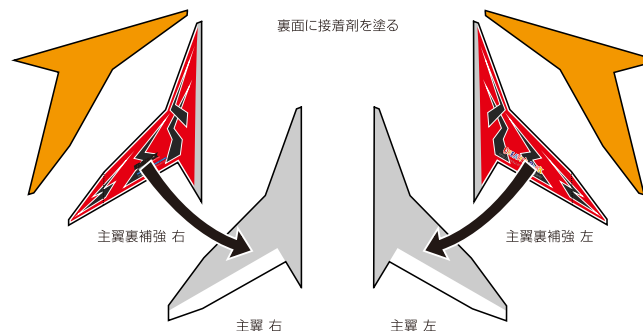
- 1 山折り線、谷折り線に折り筋をいれ、部品をハサミで正確に切る。



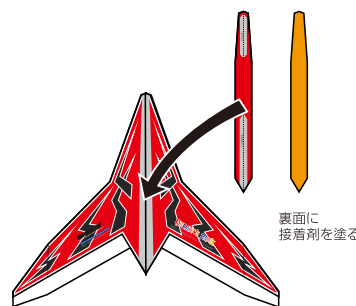
上図のように大きめに切ってから、切り取り線で切ると切りやすい。



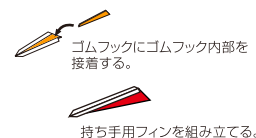
- 2 左右の主翼に主翼裏補強を接着剤で接着する。



- 3 翼下部ジョイントを接着する。



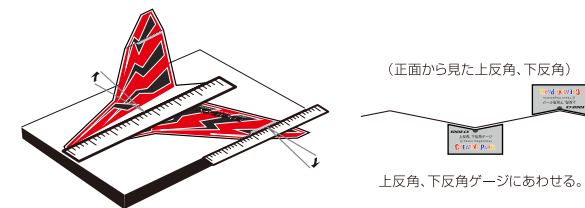
- 5 ゴムフック、持ち手用フィンを組み立てる。



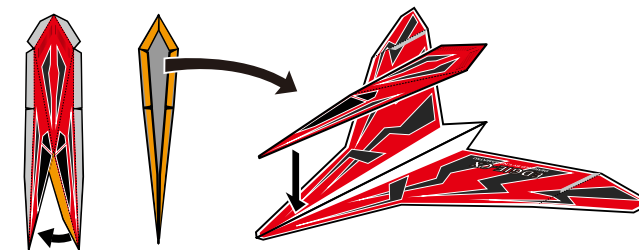
- 4 翼は接着後、板または本の間にはさみ、2時間～1日乾燥させる。
本の場合、印刷のインクが接着剤で写ることがあるので、白紙の間にはさむと良い。



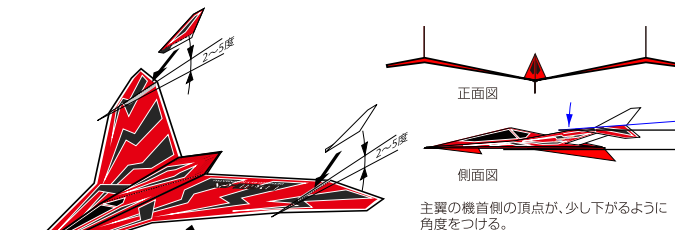
- 6 主翼に定規をあてて折り目にちからをかけ、上反角、下反角をつける。



- 7 キャンピーを組み立て、主翼に接着する。



- 8 垂直尾翼、ゴムフック、持ち手用フィンを指定の位置に接着する。



- 9 安全のため、2mm位の厚さのスポンジ、フェルトなどを6x22mm位に切り、5mm位前に出して先端に接着する。



安全のためにスポンジや、フェルトを付けても完全に事故を防げるものではありません。
"飛ばすときの注意"をよく読んで飛ばしてください。